



学校だより 青い鳥

平成30年度9月号
さいたま市立上落合小学校
平成30年8月28日作成

さいたま市中央区上落合4-14-24 TEL 852-5381
http://kamiochiai-e.saitama-city.ed.jp/ E-mail:kamiochiai-e@saitama-city.ed.jp



お手伝いとバイト

校長 藤澤 太郎

季節の移ろいがスピードアップしているのが最近の特徴です。今年は、残暑というかじっとりとした暑さがもうしばらくは続きそうですね。夏休みはどうでしたか？過ぎ行く夏を惜しむ人、暑くて暑くてもうかんべんしてほしい人、それなりに夏を楽しんだ人、それぞれと拝察します。

今日から二学期です。気持ちを切り替えて頑張っていきましょう。二学期は行事の質が違います。遠足や社会科見学、修学旅行など、あらかじめ学習したことが現地で生きてくる（試される）質の行事と言えます。目標を持ち、特に気持ちの面で着実に成長してほしいと願っています。

学生の頃は様々な職種のアルバイトをしました。（仕送り組か否かにかかわらず、）欲しい服があったり何かをしようとなれば、バイトをすることが必然でした。はじめのうちは友人の紹介で運送関係の仕事をしておりましたが、色々世の中のことが分ってくると、「割の良い」という方向になってくるのが今も昔もあるべき方向か？ということで、採用面接をいくつか経た後、デパートのエレベーターボーイ？となりました。これがなかなか面白い仕事で、1日中エレベーターに乗っているわけではなく、法律？とかの関係で1時間乗っては1時間休みというかたちで、結構楽な上にばっちりのバイト料をいただけたのでした。そして、このバイトを長く続けるには以下の努力が必要でした。① 言葉遣いを中心に立ち居振る舞いを洗練させること ② 各フロアのコンテンツが要領よく案内できること ③ 「この人乗りそう！」な視線が理解できること の三つです。①と②に関しては割とすぐにできたのですが、③はなかなか難しい課題となりました。当時も今も人の顔色で瞬時に目的を判断できるような技はもっていないので、これは困りました。しかし、その悩みも半年が経過したあたりから楽しみに変わるようになりました。「あの右から来たおばさんは？」→「乗車！（当たり）」、「前方からヒタヒタ来るおじさんは？」→「トイレ脇の喫煙所へ（はずれ→トイレでした）」という具合に大体の人の行動は瞬時に楽しみながらだいたい理解できるようになりました。そしてエレベーター前で乗り待ちしていない人を乗せる楽しみと余裕が少しできるようになりました。（そしてもっと割の良いバイトへ、）

学生のバイトはほぼ自分のためのものですが、子どものお手伝いはまた違います。基本的にお手伝いへの報酬はゼロと決まっています？し、家事やら片付け物を手伝うのは親の立場からすると、「当たり前でしょう！」ということですが、なかなかスッと自然に手伝える子どもは多くないようですね。また、一度やり出すと楽しくなって最後までやろうとするのも子どもです。

「お手伝い」は奥が深く、与えられた仕事を短時間で上手に！という域まで達するのにかなりの時間を要する傾向です。そもそも子ども心に「なんで？」というものがあり、言われてする仕事って心底いやなんだな～と思わざるを得ません。このことに対して、「ゲームだったら一晩中でもやるのに！」と思ってしまうのは率直な親の心であり、「物でつるのは違うよなあ」と思いつつ、せっかく少しやってくれたお手伝いにケチをつけたりして、、、なかなか上手いかないのもお手伝いですね。それでも、その何年後かの親子の会話には、お手伝いが話題に上り、なかなか盛り上がるものです。（そしていつしか次の世代へ、）一つ言えることは、家のお手伝いを進んでする子どもは素晴らしい！ということです。

二学期もよろしくお願いたします。

学校教育目標

あかるく なかよく たくましく